

## 母校七十周年記念募金趣意書

稲佐山の木々の緑が爽やかな青天に映え、浦上川を渡る風にも初夏を感じる季節となりました。同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、長崎県立長崎西高等学校は、昭和二十三年に鳴滝の地に誕生して以来、幾星霜を重ね、来る平成三十年十一月一日にめでたく創立七十周年を迎えます。

この間、長崎県の名門校として、校訓『自律』の精神のもと多くの俊才を輩出し、輝かしい栄光の道を歩んでまいりました。特にこの十年間は、東京大学をはじめとする難関大学への進学成績で長崎県下トップを維持し、全国有数の進学校として認知されるようになりました。勉学以外でも、バスケットボール部をはじめとする体育部の全国大会出場、生物部、物理部、地学部の全国最優秀獲得など、毎年いろいろな部活動の分野で全国レベルの活躍を続けています。

創立七十周年記念事業は現在学校主体で企画されておりますが、私も長崎西高同窓会では、七十周年を機に、これまで続けてきた生徒支援を、今後百周年に向けて、さらに継続的かつ充実したものにしたいという目的で、今回同窓生の皆様に募金をお願いすることにいたしました。

現在西高同窓会には、野球部甲子園出場後援会会計（昭和五十六年）と創立五十周年記念事業基金（平成十年）を合わせた特別会計があり、これを生徒のために有効に使うと、平成十六年に「長崎西高部活動強化支援規程」を設け、野球部をはじめとする各クラブへの部活動強化費の交付をはじめました。

平成二十四年に、部活動のみでなくもっと広い意味での生徒支援に活用するため、名称を「長崎西高同窓会生徒支援規程」に改定し、①部活動団体及び個人②野球部③学校が企画する事業に参加し進路実現に努力する個人④その他会長が特に必要と認める団体及び個人：という対象を設定しました。これに応じて、学校長より申請があったものについて、会長・副会長で審議し、交付の可否及び交付額を決定し、毎年生徒支援費を交付しています。

ただ、前述のように生徒たちの頑張りで部活動のレベルが上がり、一定の交付基準を設けているものの、それをクリアする部活動の数も増えてきました。また、進学関連の合宿や見学への旅費補助、野球部やバスケットボール部の試合で行う全校応援に際しての飲料差し入れなど、学校サイドで企画される事業への支援費も増加傾向にあり、年間百万円程度と見積もっていた予算は年度によつては上回ることもあります。

その一方で、平成二十九年年度末現在での特別会計の総合計は一千二百万円を割り込み、今後末永く生徒たちを支援していくには、いささか心もとない数字であり、十分に支援したくともできない状況が近づいているのも事実です。

今回皆様にお願ひする募金はこの特別会計に繰り入れて、将来の後輩たちの部活動強化、並びに夢の実現への微力ながらのサポートという目的のもと、これから先末永く継続し、願わくば百周年まで、有効に活用させていただく所存です。

つきましては、このような事情をご勘案いただき、この七十周年記念募金活動に、同窓生の皆様の深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## 記

### 募金目標額 一、五〇〇万円

一口三、〇〇〇円、口数の制限はありません。また口数でなく、一万円・二万円など、適宜な金額でも結構です。

同封の振込用紙（振込代無料）にてお振込みください。

募金は平成三十年度いっぱい受け付ける予定ですが、一応九月末を第一次締め切りとし、平成三十一年三月末を最終締め切りとします。

なお、この募金につきましては、西高同窓会が主体となって実施していく予定ですが、在京、関西、東海、福岡の各地区同窓会に事前にご協力のお願ひをして、各会長・役員の方々からはご賛同をいただいております。

以上

平成三十年五月

長崎県立長崎西高等学校同窓会長

濱崎 宏明